

ガンベリ農場での 新しい取り組み

PMS農業事業責任者

アジュマルスタニクザイ

農業プロジェクト

全長約二五kmのマルワリード用水路は二〇一〇年、ガンベリに到達して完成しました（現在二七km）。同年、ガンベリで農業事業を展開すべく、ダラエヌール地方にあった試験農場をガンベリに移転しました。その後、アフガン政府から農業活動のためにガンベリ沙漠の約二三〇ヘクタールの土地

が貸与されました。この土地を開墾することで住民に雇用機会を提供し、同地域の農業生産水準を向上させ、畜産経済を強化し、余剰作物を国内市場向けに出荷することを目標に開墾が始まりました。この計画が進むことによって違法薬物栽培の防止にもつながりました。

ガンベリ農場での新しい取り組みや力を注いでいる作物について紹介致します。

◎サツマイモ…乾燥地や砂地など様々な土壌で栽培が可能で、水やりの必要は少なく、暖かい地域での栽培が適しているため、私たちの活動地ではツルから非常に早く成長しており、大いに期待の持てる作物です。苗の植え付け方法をいろいろ試した結果、やや高い畝への植え付けが最も収穫量が多

いことが分かりました。

種芋の伏せ込み作業をした後は、冷気から保護するためビニールシートを被せました。暖かい日はシートを半分開けて風を通して苗を育て、芋のツルが三〇〜四〇cmほど伸びた分を切り取り畝に植え付けます。今年はずルの成長がゆっくりで、植付け用の苗として伸びるのを待っているところです。

越冬に成功して種芋を増やすことができましたので、昨年は普及のためクズクナル、ベスード、カマ、ダラエヌール、ホギャニ地区の農家に八二〇本のツルを配布し、良好な収穫量をえました。サツマイモは、健康と経済の両面で多くの利益をもたらす貴重な作物で、消化器系を健康に保ち、便秘を解消すると学習しました。アフガニスタン特にナンガラハル州ではまだ農家も馴染みがないため、今後農園で大規模に栽培して他地域への普及を試んでいます。

◎パウロニア（桐）…アフガニスタンのある地域では桐の栽培が奨励されていることを知り、ジア先生に相談してPMSでも試験栽培をすることにしました。昨年末カブールで根付きの苗を一〇〇本手に入れることができましたので、早速育苗場で栽培を始めたところ、全ての苗が活着しました。成長が早く既に二m程になり葉を大きく広げています。広く柔らかい葉は栄養があるので家畜の餌としても優れ、花にはミツバチがやってきます。

更に二酸化炭素の吸収能力が高く、乾燥、高温地域の砂質土壌に適しているとの情報もあり、ガンベリ試験農場は桐の栽培に適した場所であると判断しました。現在、四五〇本に増やして育苗中です。今後の成長を楽しみに観察していきます。

◎ナツメヤシ…温暖かつ乾燥した気候、砂質土壌を好む性質から、ガンベリ農場は栽培に適しています。樹木の脇芽を大切に育て、ドクターサーブナカムラが開始した十ジェリブ（二ヘクタール）のナツメヤシ園を更に増やしてゆく計画です。育苗場ではナツメヤシの種を試験的にポットに植えて栽培中で、現在のところ発芽して15cm程に成長しています。

◎野菜…三ヘクタールに季節の野菜を栽培しています。現在は、玉ねぎの収穫中です。農場では、少量の水利用での栽培法による



デーツ（ナツメヤシの実）を食べる少年
（画：福岡高校ペシャワール班）

圃場の準備、畝作りと灌水、苗の植え付けを実践してよい結果が得られています。これらは細野道明博士（建設技研インターナショナル）からご指導頂いています。

アフガン人の憩いの場

PMSは二〇一二年、ガンベリ農場の一ヘクタールの土地と五階建ての塔からなる公園を、アフガン人同胞やナンガラハル州住民の楽しみと休息のために建設しました。この公園にはドクターサーブの名前を冠しています。二〇二〇年には、ここにドクターサーブの記念碑が建立されました。ドクターサーブは生前、休息に来る人や観光客が利用できるよう、短期間で緑豊かで魅力

的な庭園に造り変えられました。現在、この公園は、地域の人々が楽しみ、リラックスし、運動を目的として集まる公共の場所になっています。心身に問題を抱える人々も、この公園を安全な憩いの場として利用しています。

PMSの活動地では、ガンベリ農場はもちろん、灌漑施設の保護と強化のために取水門や用水路沿い、沈砂池などの周辺に植樹した多種の樹木が成長、緑が美しく、多くの人々が訪れて楽しんでいます。二〇〇三年からの総植樹数は一三〇万本を超えました。現在も植樹は続けられており、環境と美化に貢献していることは、私たちの重要な成果であり、誇りの一つです。